

憩いの広場の検討；現況分析



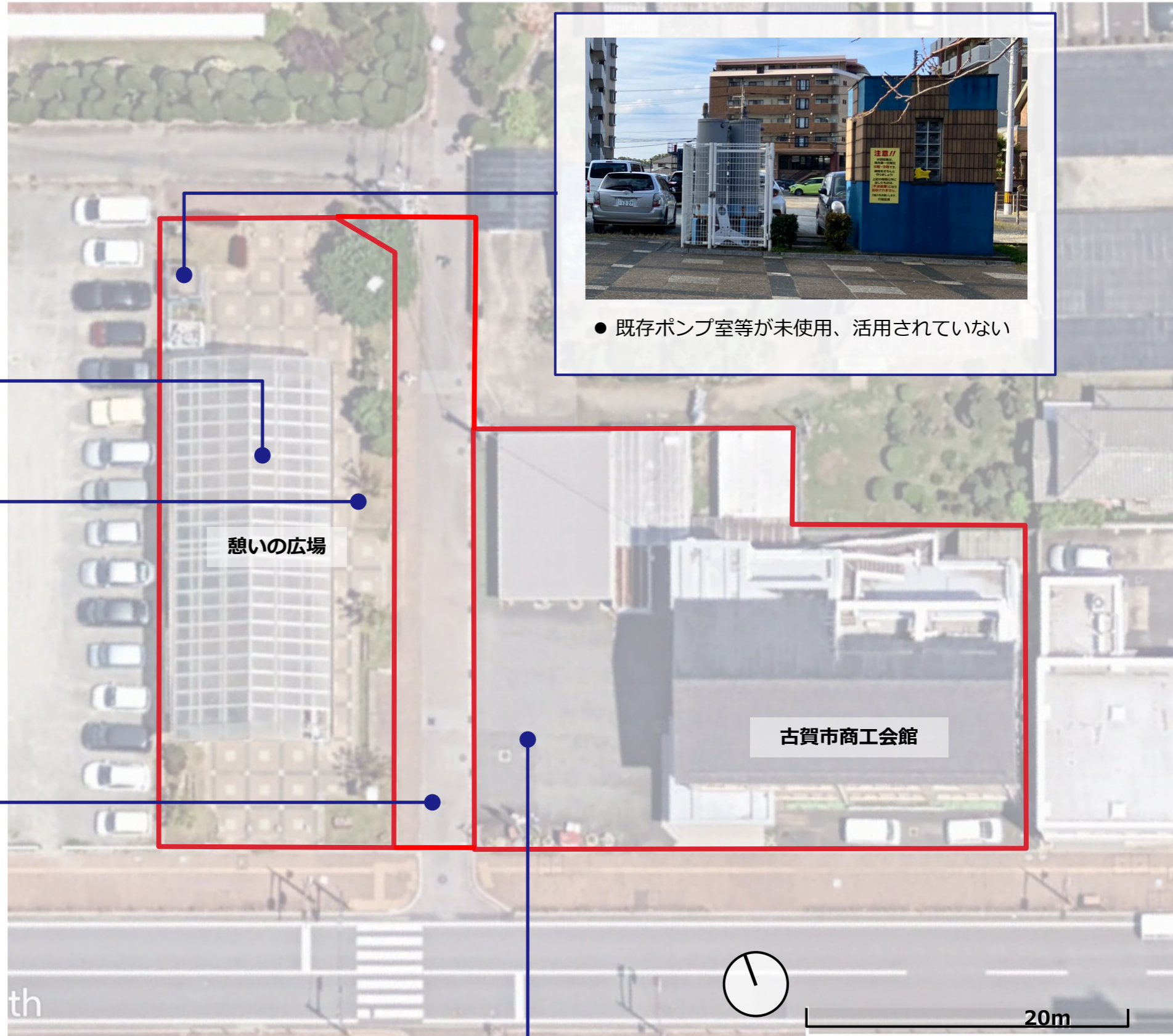
- 憩いの広場の屋根が日よけ、雨よけの機能として十分でない
- ステージ・屋根の老朽化、電源等の設備の不足

- 既存樹木の一部枯れていたり、強剪定により樹形が安定していない



- 道路（車道）や植栽ますにより商工会議所、憩いの広場が分断されている

- 駐車場部分がアスファルトとなっており、憩いの広場側との一体感がない、外構前面部分の勾配がきつく活用しづらい



- 既存ポンプ室等が未使用、活用されていない

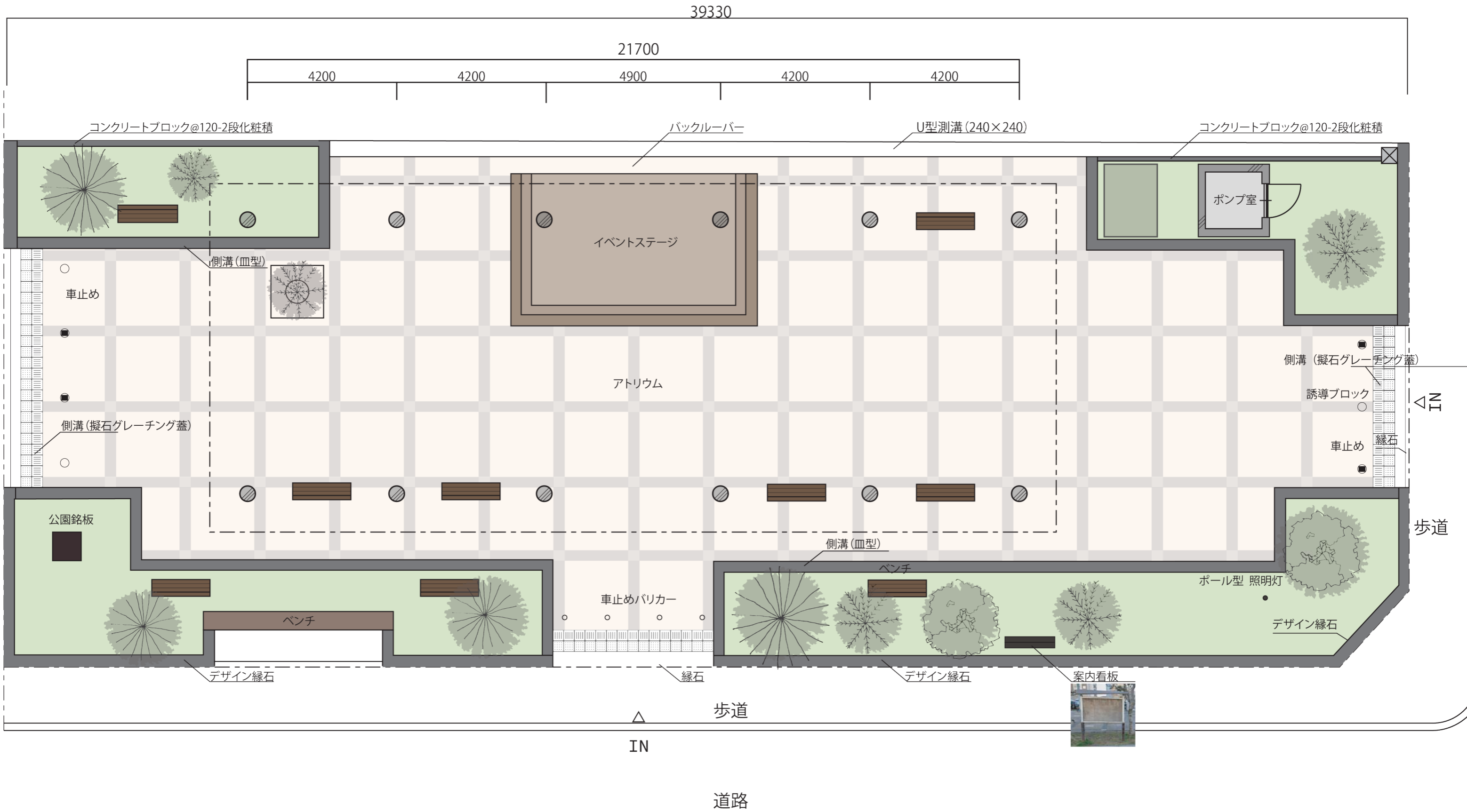
憩いの広場

古賀市商工会館

20m

※Google Earthより抜粋

憩いの広場の検討；（現況平面図）

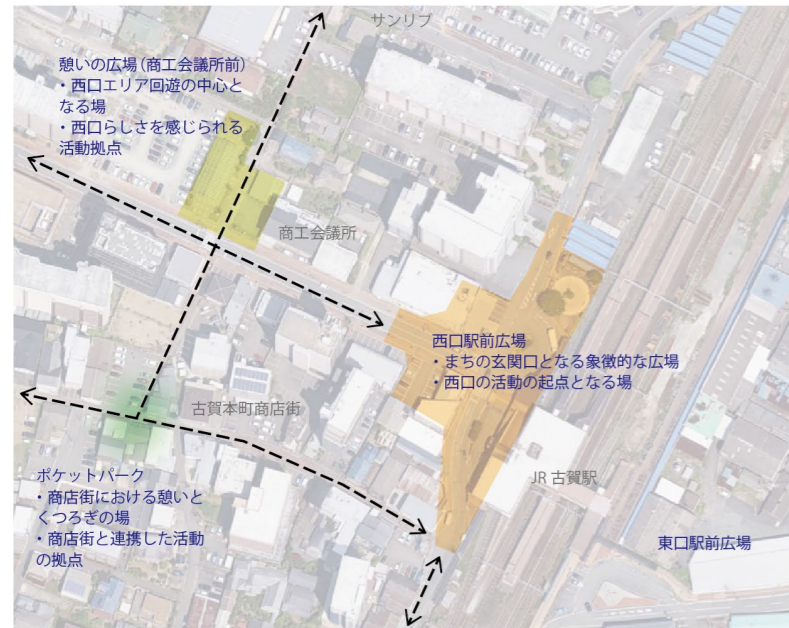


憩いの広場の検討；検討案（計画平面図）

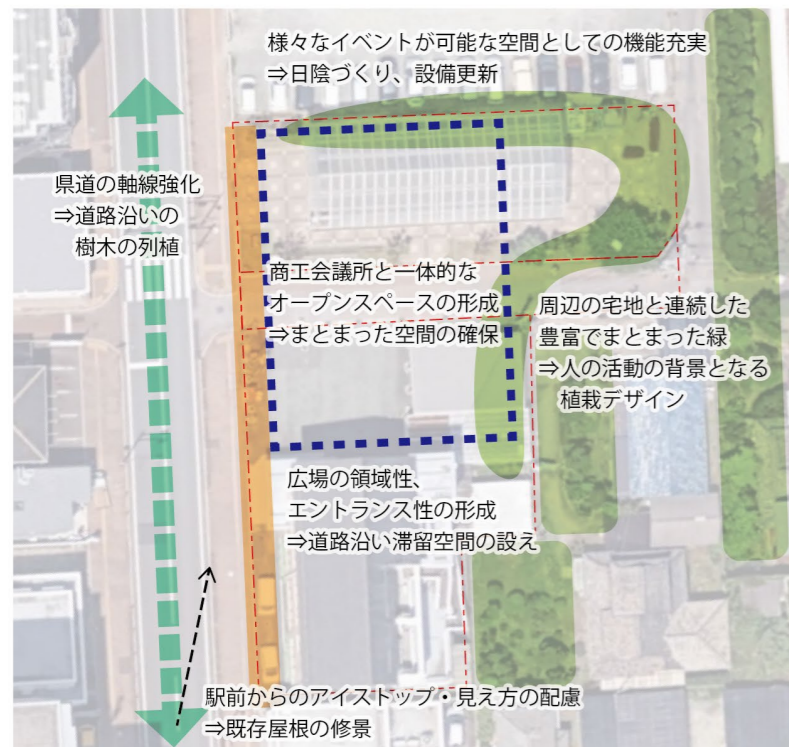
※関係者協議中のため、今後、調整により計画内容の変更の可能性があります。

【考え方】※R6古賀市「JR古賀駅西口周辺整備基本方針」より

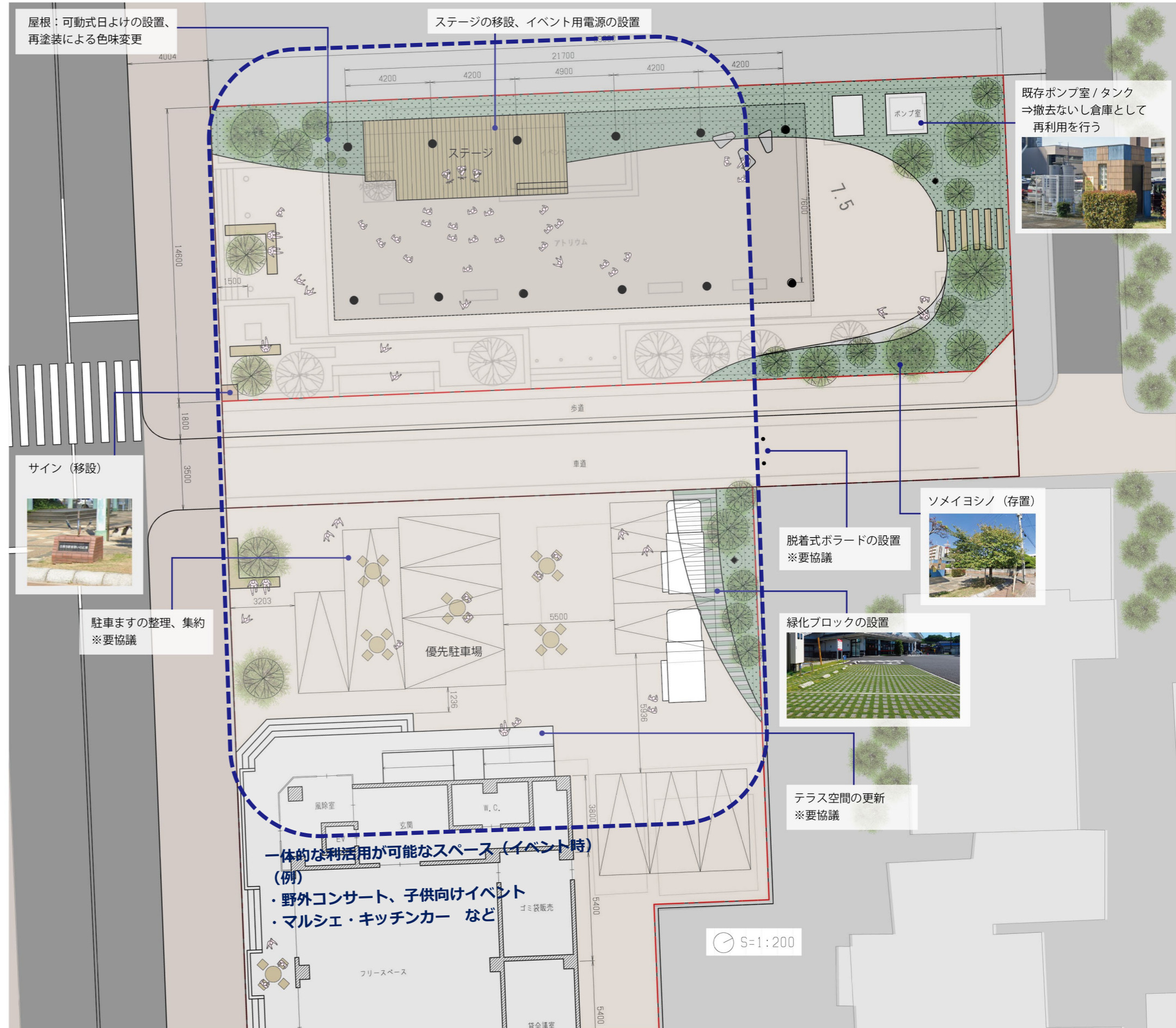
- ・まちなかを回遊する結節点として、歩行者を誘い、快適に滞在できる広場空間として整備。駅方面からの視認性を確保するとともに、周辺とのつながり、動線を考慮する
- ・イベント等の多目的に使える空間を確保し、まちづくりの関係者等が空間を設えたり、育てる余地を残す。また、商工会側と連携したイベント実施や一体的な利用ができるよう空間を設える



広域（西口周辺エリア）の考え方



憩いの広場の計画方針



憩いの広場の検討；計画イメージ

※関係者協議中のため、今後、調整により計画内容の変更の可能性があります。

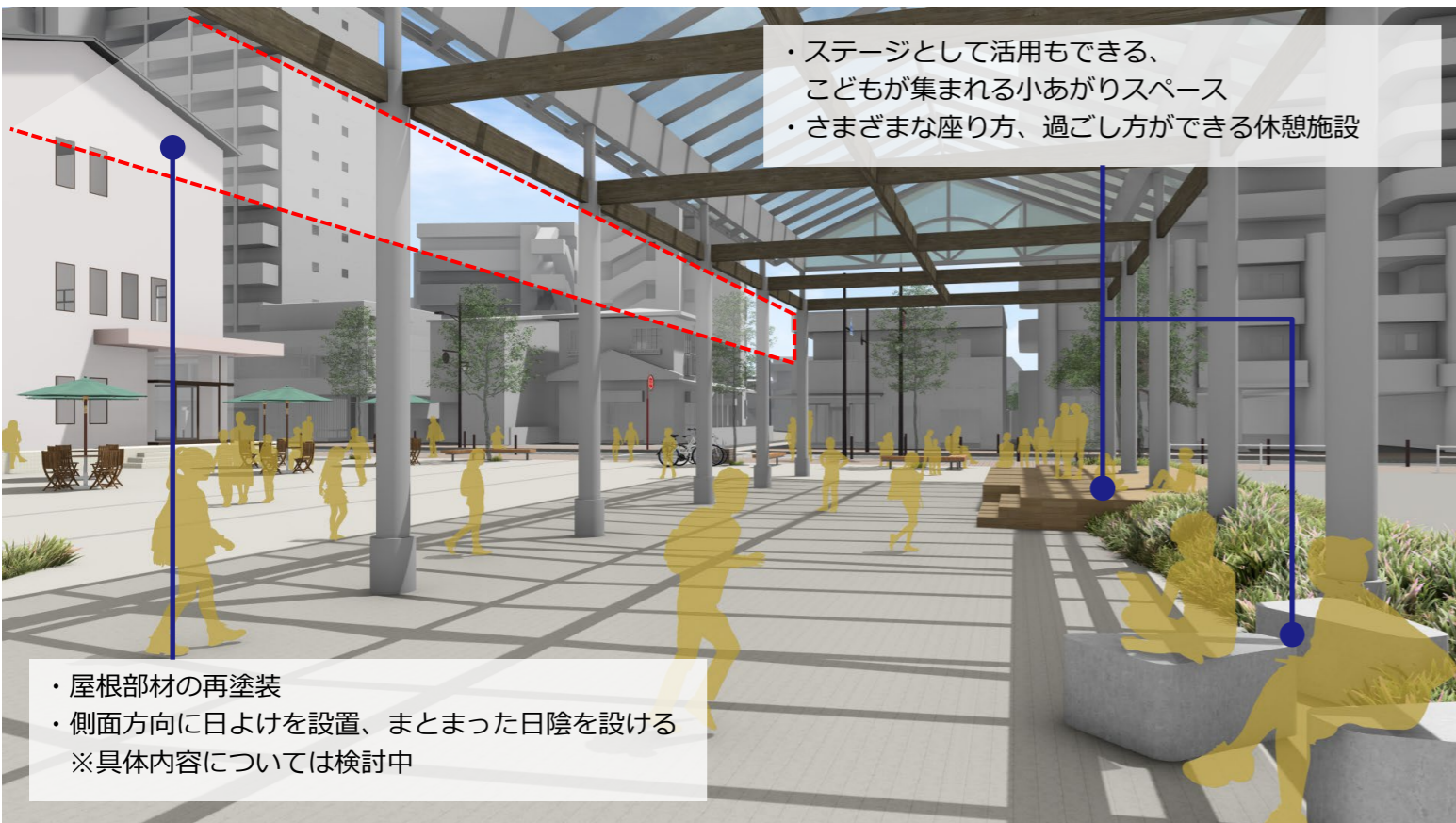
全体としてすっきりとまとまった空間を目指し、柔軟な利活用を可能とした空間づくりを行う



県道沿いに高木、休憩施設（ベンチ等）を設置し、駅からのアイストップとなりながら気軽に立ち寄れる空間をつくる



・ステージとして活用もできる、
こどもが集まれる小あがりスペース
・さまざまな座り方、過ごし方ができる休憩施設



・屋根部材の再塗装
・側面方向に日よけを設置、まとまった日陰を設ける
※具体内容については検討中

憩いの広場・道路・商工会議所外構と舗装のデザインについて可能な限り統一感を出し、一体的な広場を目指す

